

すもと 市議会だより

第 1 1 号

平成21年 1月15日

編集発行 洲本市議会

TEL 0799-22-3321(代)

FAX 0799-22-3092

//12月定例会市議会//



(大浜海岸にて)

あけまして
おめでとう
ございます

洲本市債権の管理に関する条例を原案可決

その他、補正予算、条例の制定・一部改正等の議案30件を原案可決

主な内容

《一般会計補正予算	6億5,530万円》	《後期高齢者医療特別会計補正予算	△670万円》
・私立保育所運営委託料	1,495万円	・人件費の精査	
・道路維持経費	△628万円	《水道事業会計補正予算	△2,390万円》
・小学校耐震改修事業費	2億3,703万円	・配水管整備事業費の精査	
・ふるさと洲本もともと応援基金積立金	969万円		
《国民健康保険特別会計補正予算	36万円》	《条例の制定及び一部改正》	
・人件費の精査		・CATV施設の設置及び管理に関する条例の制定	
《由良財産区特別会計補正予算	42万円》	・国民健康保険条例の一部改正	
・一般会計繰出金		・由良交流センターの設置及び管理に関する条例の 一部改正	
《老人保健医療特別会計補正予算	△2,232万円》	《その他議案》	
・人件費の精査		・淡路市・洲本市広域事務組合の解散	
《下水道事業特別会計補正予算	1,719万円》	・洲本市の区域内における字の区域の変更	
・施設長寿命化のための設計等委託料		・CATV施設統合整備工事（第1期）請負変更契約締結	
《CATV事業特別会計補正予算	426万円》	《追加議案》	
・洲本CATV施設管理費		・公の施設に係る指定管理者の指定	
《介護保険特別会計補正予算	△2,128万円》	・CATV施設統合整備工事（第2期）請負契約締結	
・人件費の精査			

12月定例市議会は、8日から16日までの9日間開催されました。

今定例会では、8日（第1日）に補正予算、条例の制定及び一部改正など議案29件、9日（第2日）に五色健康福祉総合センターの指定管理者の指定に関する追加議案1件、16日（第3日）に旧洲本地域のCATV施設統合整備工事請負契約締結に関する追加議案1件の計31議案が上程され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決いたしました。

一般質問 要旨

まちづくり

Q 5年後に計画している市役所建てかえについては、市民の間では賛否両論さまざまな意見があり、今後多くの議論が必要である。財源については合併特例

債を活用するということが、合併特例債事業の大部分が中心市街地に集中することになるのではないかと、均衡ある発展という本来の合併特例債の趣旨からして好ましくないのではないかと



市役所本庁舎

A 本庁舎は、本年度末で築後46年が経過する建物であり、鉄筋コンクリート造りの建物の耐用年数50年という数字が建てかえのひとつの目安となっています。

合併特例債は、新市建設計画に上げられた事業に活用することができるようになっており、また、合併の際の合併協議会によって策定された新市建設計画の中でも重点施策のひとつとして上げられ、「官公庁の合同庁舎化の推進」という文

言で庁舎整備の考え方が示されていることから、現在の国のいろいろな出先機関の担当である国土交通省と検討・協議を重ねています。

また、均衡ある発展というのは地域の特性に応じた役割を設定し、その役割に基づいてまちづくりを進めることであり、公共施設を分散・配分して設置するというような意味ではないと理解しています。

淡路1市

Q 現在、淡路島3市とも財政は窮乏し、住民サービスも軒並み低下している。

地方自治において住民個々の意思尊重という点からは、できる限り小さな自治体が好ましいが、今の自治体財政の悪さや公的サービスの低下を対比すれば、それは難しいと考える。

3市の合併により、合理化・効率化がさらに促進し、住民サービス面に寄与できるのではないかとと思うが、いかがお考えか。

A 現在淡路島の3市は、それぞれ財政再建のため必死に取り組んでいます。それぞれの財政が再建されればおのずと淡路1市になるのではないかと考えています。

交通施策

駐車場整備

す。また、先ごろ認められました淡路島観光圏の本質でいけば、やはり淡路1市に向かつていくのではないかと考えます。

Q 洲本インターの料金所横にある駐車場は、駐車場から出る場合非常に危険であったが、最近、本四高速株式会社は、最近、本四高速裏側へ出る通路ができた。

しかし、駐車場はかなり満車状態であり、せつかくの役割も十分に果たせていないと思われる。ぜひとも本四高速株式会社横を駐車場にしてもらえるよう要望すべきであると思うが、いかがか。

A 今年の8月から9月にかけて本四高速株式会社で、安全対策として駐車場の入口と別に出口専用の通路をつくっていただき、非常に感謝しています。

インターの中にある空地については、これまでも多くの議員から提案をいただいております。このことも踏まえて本四高速株式会社と粘り強く交渉をしているところであります。

外環状線の位置づけ

Q 外環状線は、本市の道路交通網を広域的な観点から見た場合、そして各種の国、県道の整備を進めていく上で、整備が非常に重要になってくる。北側の国道バイパスや南側のオニオンロード等との連携、また平成21年度からの観光圏整備事業、デステイネーションキャンペーン等の観光振興施策からみても必要性・重要性が非常に高いと思うが、どのように考えているのか。



外環状線（千草川付近）

A この道路はすでに千草川から小路谷方向へ約1,500メートル整備されており、残りは県道洲本灘貫集線に連絡する区間、さらに国道バイパスと連絡する

部分があります。

この道路は、観光の宿泊拠点である小路谷地域の旅館街や観光地と結ぶ観光道路として、また、地域間の主要幹線として、災害時の迂回ルートとして、さらにはオニオンロードとの接続による阪神間への農産物の移送ルートとして等、大きな可能性を持った道路であることから、早急に事業実施を図っていきたく考えています。

財政問題

インターネット公売

Q インターネット公売は、ヤフーオークションの活用で、税金などの滞納者から差し押さえた財産を国税徴収法などにのっとり公売し、落札された物件の代金を納税者の未納税金の支払いに充てるものである。

本市においても、税収アップの一環として、早急に実施に向けて取り組むべきであると考えるがどうか。

A 県下では本年6月現在、18市5町で実施しています。本市においても来年1月には実施することとしており、現在その準備等をしていきます。

使用料・手数料の検討

Q 使用料・手数料については、受益と負担の適正化あるいは負担割合の妥当性により検討を加えられるものである。今年度に行われたサマーレビューにより、火葬場使用料、保育料、下水道使用料、家庭ごみ処理手数料、し尿処理処分手数料については、今後十分調整を図ることになっているが、来年度この使用料・手数料についての値上げを考えているのか。

A 火葬場使用料、保育料、下水道使用料、家庭ごみ処理手数料、し尿処理処分手数料については、市民がサービスの提供を受けるに当たり、特に選択の余地が少なく、市民生活に多大な影響を与えると考えていますので、料金の見直し時期については今後十分調整する必要がありますが、少なくとも平成21年度において値上げすることはないと考えています。

教育政策

中学校での給食実施

Q 給食の全校実施は全体の公平を確保する意味でも

必要であると考えます。

本市では現在、洲浜中学校、青雲中学校において給食が実施されていない。洲浜中学校の場合は、洲本第一小学校や洲本第二小学校と、いわゆる親子方式での組み合わせを考えるとができる。

できるところから、できる方法で早期実施してはいいかがか。



洲浜中学校

A 洲本第一小学校、洲本第二小学校のいずれかの親子方式としては、現在の洲浜中学校の食数であれば可能かと考えられますが、親子方式を実施するに当たっては、施設の改修、備品の購入、配送車両の購入、人件費等々、多額の経費が必要となります。

教育委員会では、本年度設置した洲本市学校教育審

議委員会において、給食未実施校の問題も含め、総合的な観点から審議しており、その答申を受けた後、できるだけ早急に方針を決定したいと考えています。

ゆとりある教育

Q 義務教育は一人の人間を形成していく上で一番大事な時期である。ここできつかりと、ゆとりある教育をし、子どもたちの発達段階に依じて十分に理解できる授業をすすめていくことよって、基礎学力を身につけ、人格を形成していくことにつながると思われれるが、ゆとりある教育についていかがお考えか。

また、いわゆる全国いつせい学力テストについては、今後の学校教育にどう生かしていくつもりか、あわせてお聞きしたい。

A 来年度には小学校では1時間程度授業時間がふえますが、内容はそう変わることはありません。ゆとり、ゆとりと言われているのが、急に学力向上のようにとらえられていますが、これは何ら心配はないと思います。やはり子どもがゆとりを持つということは、まず教職員がゆとりを持ち、子ども

もたち一人一人と話し合う、一緒に遊ぶ、こういう時間が必要ではないかと思えますので、学校長とのヒアリング等の中で今後進めていきたいと考えています。

また、全国いつせい学力テストですが、正式には「全国学力調査」並びに「学習状況調査」という二つがあります。この結果として、学力の高い児童、生徒は家での基本的な生活習慣が身につけている者が非常に多いということも出ています。

今後は、この調査結果を踏まえ、一人一人の個性や基礎学力を伸ばすために使いたいと考えています。

産業政策

企業進出優遇策

Q 企業進出優遇策として、本市では洲本市産業振興奨励条例において固定資産税の額を限度として、予算の範囲内で奨励金の交付を定めている。南あわじ市では土地取得奨励金の交付、企業等の新設優遇措置として固定資産税の免除、新規雇用雇用従業者奨励金等、また淡路市では立地奨励金、雇用奨励金、明石海峡大橋通行料及び水道使用料に対

する助成金等があるが、本市は、淡路島内の他市に比べると優遇策が弱いといわざるを得ない。

税金を確保していく意味でも、企業誘致は欠かすことができないと思うが、この優遇措置の見直しあるいはさらに思い切った優遇措置をとるといったことを考えては。

A 昨年6月に企業立地促進法が施行され、その基本方針に基づき基本計画を作成することによって国から支援を受けることができま

す。淡路島内の他市は、この企業立地促進法に基づく国の支援を受けております。本市としても、現在県と種々の検討を進めております。また、他の方法はないか、幅広く検討したいと考えています。

朝市

Q 近年、市内各地で朝市、青空市等、呼び名はさまざまであるが、生産者の直売が行われるようになってきている。

生産者にとっては消費者とじかに触れ合え、また、多少なりとも収入が見込める。一方消費者にとっては

新鮮で安価な野菜が入手でき、しかも生産者の顔が見えることでの安心感も得られると、双方に好評である。こういった直売について、現況を把握しているのか。

また、一定以上の期間、安定的に展開され、生産者グループが運営しているような直売について、開催曜日、場所、グループ名、主な出品物等の情報を広報等で市民に提供していくような取り組みはできないか。

A 市内で開催されている朝市や直売等の正確な数字は把握していませんが、常設・有人・周年運営といった様々な運営形態で、農作物の販売が行われていると認識しています。

情報提供については、広報紙等を活用して紹介するよう前向きに検討したいと考えています。



地域の青空市

医療問題

救急医療体制

Q 現在、一次救急については3市がそれぞれに応急診療所を持っており、市民にとっては利便性があるが、近い将来、24時間対応の一次救急医療体制を構築しなければならぬことを考えると、その拠点となる救急センターは、一箇所ではなく、人的資源確保やコストの点からも、3箇所の応急診療所を統合することが必要になってくると思うが、これについての考えは。

また、現在の島内小児科医による在宅輪番制での深夜小児救急診療体制については、今後、この体制を長く維持させるための方策やこれに変わる制度を考えているのか。

A 一次救急医療体制については、地域医療確保対策推進淡路圏域本部で議論を重ねており、その中で3市にある応急診療所を一つにして深夜帯も利用できるようにならないか、また、全島にある病院群の輪番制で担えないか、あるいは、それらすべてを一緒に担うことができないかなどを検討

しているところです。

深夜小児救急診療体制については、担当医師と数回にわたり検証し、課題が見えてきたことも事実ですが、これは、やはり全体の一次救急に通ずるものがあると認識しており、今後十分に検討を進めていきたいと考えています。

情報施策

CATV電話

Q 現在、順次統合整備工事を進めているCATVでは、旧洲本地域と旧五色地域での方式の違いなどからケーブル電話での通話ができない状況である。旧洲本地域では、工事終了後に端末を新しくすると、先行して工事を行った旧五色地域とのケーブル電話での通話が可能になるが、逆に、工事が終わっていない旧洲本地域のケーブル電話との通話ができないようになるのか。

A 現在、本市のCATVは、旧五色地域では新システム、旧洲本地域では旧システムの2つが混在している状況になっています。旧洲本地域で統合整備工事が完了した家庭では、旧五色地域とはケーブル電話で通



新告知放送端末

話できるようになります。同じ旧洲本地域でも旧システムのケーブル電話とはつながらなくなります。このような不便は、すべての市域で統合整備工事が完了するまでの1年数ヶ月間は続くこととなります。

請願

「ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願」は賛成少数で不採択、「自主共済制度の保険業法適用見直しを求める請願書」は全会一致で採択と決しました。

意見書

「自主共済制度の保険業法適用見直しを求める意見書」を、全会一致で可決し、内閣総理大臣等、国の関係機関に送付しました。

人権擁護委員の推薦に同意

・高倍昭治氏

常任委員会審査状況

総務常任委員会

一般会計補正予算では、歳入で、国庫支出金、一般寄附金の追加、県支出金の減額等を。歳出で、財政調整基金積立金追加等を。その他、由良財産区等の特別会計補正予算、個人情報保護条例の一部改正、淡路広域行政事務組合規約の変更等の15議案について、12日に委員会を開催。

審査の結果、いずれも全会一致で原案可決。また、16日に追加上程されたCATV施設統合整備工事(第2期)請負契約締結の1議案について、同日、委員会を開催。

審査の結果、全会一致で原案可決。

教育民生常任委員会

一般会計補正予算では、乳幼児医療費助成システム開発委託料、障害者自立支援費の追加、各種検診委託料の減額等を。その他、老人保健医療、介護保険等の特別会計補正予算、市立学校給食共同調理場の設置及

び管理に関する条例の一部改正、五色台聖苑火葬場の火葬事務の受託、9日に追加上程された公の施設に係る指定管理者の指定等の11議案について、11日に委員会を開催。

審査の結果、公の施設に係る指定管理者の指定は賛成多数で可決。その他の議案は全会一致で原案可決。「自主共済制度の保険業法適用見直しを求める請願書」は全会一致で採択。

産業建設常任委員会

一般会計補正予算では、水道事業会計高料金対策補助金の追加、道路維持経費の減額等を。その他、下水道事業特別会計補正予算、水道事業会計補正予算、由良交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正等の6議案について、10日に委員会を開催。

審査の結果、いずれも全会一致で原案可決。

「ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願」は採決の結果、可否同数となり委員長裁決により不採択。

12月定例会の日程

- 8日(開会) 本会議
 - ・議案29件上程、説明
 - ・質疑、一般質問4議員
- 9日 本会議
 - ・質疑、一般質問4議員
 - ・議案29件を各常任委員会に付託
 - ・議案1件上程、説明、質疑、常任委員会に付託
 - ・請願2件上程、各常任委員会に付託
- 10日 委員会審査
 - ・産業建設常任委員会
 - 11日 委員会審査
 - ・教育民生常任委員会
 - 12日 委員会審査
 - ・総務常任委員会
 - 16日 本会議
 - ・議案30件についての各常任委員会審査報告、質疑、討論、採決
 - ・議案1件上程、説明、質疑、常任委員会に付託
 - ・委員会審査
 - ・議案1件についての常任委員会審査報告、質疑、討論、採決
 - ・請願2件についての常任委員会審査報告、質疑、討論、採決
 - ・意見書案1件追加上程、採決
- ・議員派遣上程、採決
- ・閉会中の所管事務調査事項を決定(閉会)